令和５年度　地域文化活性化助成　活動成果概要

団体名・個人名	いしばしコモンズ
活動名称	いしばしコモンズプロジェクト
活動内容	石橋地域の文化資源について、公募で集った受講生の専門性や独自の視点を活かして個人及び共同で調査を行い、その文化資源を現代に活かす創造的な手法を探求する。今年度は「暮らすってなんだろう?」をテーマに、講師によるレクチャーや受講生同士、また地域住民との対話等から研究調査を行う。令和６年３月には、受講生が立案した企画のプレゼンテーションと、講師とゲストからの講評及びシンポジウムを予定し、多くの方々と得られた知見を共有する。 講師にはものづくりを通して暮らしを豊かにすることを目指すgrafより合田知代氏[建築]と、演劇の知見から過疎集落の民俗芸能の復活/継承を担い、現代に通じる暮らしを提案する武田力氏[芸術]、また、石橋商店街にて自然食レストランばんまいを展開する山田久氏[食]を、それぞれに専門性をもちながら、いずれも文化に通じる方々をお呼びし展開する。人が出会う結束点として育まれてきた石橋の文化と繋がる「これからの暮らし」を各受講生が企画、発表するプロセスは、地域住民にとっても足元の文化資源を再発見・再認識する学びの機会となるだろう。
活動のコンセプト・ねらい	中小企業庁が令和３年度の商店街実態調査で示すとおり、商店街の約９割が新型コロナウイルスの影響を受け、およそ半数が空き店舗の更なる増加と今後の商店街の衰退を見込んでいる。現況は苦しいが、古来より培われてきた石橋の文化資源を調査し、次代を担う受講生たちがその調査を踏まえた企画を提案することは、石橋という環境の独自性に紐づき、それを未来へと繋ぐ行為である。 また、本スクールにおいては、受講生のみの学びに完結するのではなく、地域文化の調査研究の際や交流機会の創出など、住民が受講生の企画立案のプロセスに並走し、受講生と住民とが互恵的かつ主体的に地域活性化のあり方を見出せるようプログラムする。 ２多様化が進んだ現代社会では、より多角的な視座から土地の暮らしを捉え直していく必要があり、それが新たな相互扶助や地域活性化へと繋がっていくだろう。石橋地域に限ることなく受講生を広く公募

	し、「外」からの視点で地域に新たな可能性を見出していく。当スクールが継続していくうちに、実現へと至る企画も出てくるだろう。石橋地域の文化資源を土壌とした企画が、時を経て地域の魅力として萌芽していく本スクールはいわば「種まき」である。 商店街は元々その土地の歴史や環境に応じた個性を必然的に有していたが、流行り廃りの早い現代に、人間が生きるに必要な文化に収斂される専門性をもった講師陣や石橋で暮らしを営んできた住民とともに、この土地の魅力を認識・発見、共有し、その個性を次世代とともに発信していく。
活動実績	毎月、最低５つ、多いときは 10 程度のイベント、企画を実施した。年間通じて、100 程度の企画が実施された。 毎週の不登校児のための居場所つくりのような 2～4 名の小さな企画から、翻訳文学の朗読イベントのような 15 名程度が参加する中程度の企画、商店街全体が関わるお祭りの手伝いのような、スタッフだけで 20 名以上になるような大きな企画まで、大小様々な企画を実施した。 講師として関わってもらった Graf さんとのコラボでは、「ものづくり」を中心に、事務所の見学やコンセプトの作り方についてのレクチャーを行ってもらったり、実際に自分の手で作品を制作してみるワークショップを実施した。 武田さんとのコラボでは、「アート」を中心にすえて、武田さんが中心となって企画するアートイベントの参加や、石橋の外に飛び出して、街に拠点を置きながら様々なアート活動を行う此花区の取組を見学するなどして、少しずつ「アート」と自分たちの距離、アートと社会の関係について考える機会を持った。最終的には、自分たちなりに「アート」をイベントの形で企画、発表した。 食に関するプロジェクトでは、山田さんだけでなく、地域で食を通じた啓発活動を行う市民の協力を得て、日本食についてのレクチャーや、実際に料理を通じて理解を深めるワークショップを実施した。また、海外に滞在していたアーティストに、現地で得た知見について料理を通じて講義してもらう企画も実施した。 ものづくり、アート、食、それぞれの視点から多様なイベントを実施することができた。イベントについては Facebook を中心に広報、報告を行い、地域内外の市民に関心を持ってもらえるよう努めた。 （https://www.facebook.com/atelier.honey/）

事業の成果・効果	今回の助成金を活用することによって、外部の協力者を巻き込みながら、多数のイベントを実施することができ、それらのイベントに大人から子供まで、また地域内外の幅広い人々に参加してもらうことができたことは直接的に街のにぎわいに貢献し、「成果」と呼ぶことができると思います。 一方で、もう少し長期的な視点で今後の石橋地域の活動について展開していくことを考慮すると、石橋地域で活動するメンバーにとって以下のような３点の効果があったと考えています。 ＊＊＊＊＊＊＊ １つは、かつて（2009～2015 年頃）大阪大学との協力関係によって、従来の商業活性、地域活性化とは異なった形で成立していた「遊びながら知らず知らずのうちに学ぶ」スタイル（構え）をどのように石橋地域に再導入するかの輪郭を発見すること。 もう１つは、上記のような「構え」を再導入にあたって、「アート」と呼ばれる活動がどのような働きを担うのか考える機会を、アーティストと呼ばれる方々との交流を通じて持てたこと。 最後に、今年度の事業を通じてこれまでにない石橋地域外とのつながりが生まれ、来年度以降のリサーチプロジェクトが動きだすきっかけになったこと。 ＊＊＊＊＊＊＊ いしばしコモンズの企画者である菱田が石橋で活動することになったきっかけは、2010 年代に大阪大学で行われていた「コミュニケーションデザイン」の活動が背景にあります。 コミュニケーションデザインとは「専門家的知識を持つ者と持たない者、利害や立場の異なる人びと、そのあいだをつなぐコミュニケーション回路を構想・設計すること」と定義された活動で、その中でも「社学連携」は、対話的コミュニケーションを基盤とした様々な「社会の中で学ぶ」プロジェクトが実施されていました。 残念ながらそのスタイルは失われてしまいましたが、今年度の活動において、当時の関与者にも多く「いしばしコモンズプロジェクト」に関わってもらうことができました。その関わりを通じて、社会における「アート」活動の持つ可能性をプロジェクトの参加者と一緒に考え、具体的なイベントの形として実施できました。

	その結果、当時の活動を今の時代背景や社会状況に合わせて「再導入」する意義があることを確信するに至りました。この「確信」は、今後の石橋での活動の方向性を定めるにあたって基盤となるものであり、その意味で、今年度の助成事業は大きな発見をもたらしました。
今後の展開	上記でのべたように、今後は「コミュニケーションデザイン」の視点や、過去の活動の蓄積を参照、活用することが重要になってくると考えます。 そのため、当時、石橋地域で活動していて、その後、様々な社会課題に関わっている「卒業生」とのネットワークを強化すること、ネットワークを通じて得られた知見を「企画」の形で石橋地域で可視化し、その企画に地域内外の市民を巻き込んでいくことを計画しています。 広い意味で、大阪大学を中心に、助成を通じて出会った様々な機関のリソースを活かしながら「教育」の役割を担うことを目標にしていきます。

以下、活動内容のわかる写真等を添付してください。

(各種イベントのチラシ)

5/12（金）
まちばの「阪大」論
日本語学者/放送大学大阪学習センター所長/
元大阪大学コミュニケーションデザイン・センター長
金水敏
×
批評家
小峰ひずみ
2023年
5月12日（金）
19:00~21:00
18:30より開場・受付
タローパン
（阪急石橋阪大前西口から徒歩3分）
定員20名程度/カンパ制/入退場自由
イベント詳細/
事前申し込みはこちらから

読んだり、聞いたり、しよう会
2023/9/8（FRI）
9/22（FRI）
13:00~15:00
◆日時：9月8日（金）・9月22日（金）
◆場所：石橋商店街内コミュニティスペース「滴塾」
※（大阪府池田市石橋１丁目１１－７）
◆内容：主催者が「これを誰かと読んでみたい！」と思った文章
をみんなで読み、話し合います
◆参加費：無料
◆申込方法：ishibashi.academy@gmail.comまで氏名、連絡先を

なんか、つくる工房
2023年9月23日（土）、9月24日（日）
14時～17時@滴塾
◆日時：9月23日（土）・9月24日（金）
◆場所：石橋商店街内コミュニティスペース「滴塾」
※（大阪府池田市石橋１丁目１１－７）
◆内容：
自分で手を動かして「つくる」ことを、デザイン会社「graf」さん、

見に来てね
留学生/地域
インターンシップ報告会
in 石橋商店街
1.23 火
14:00～16:00
石橋商店街内
コミュニティスペース

絵本てつがくカフェ
@カルチエ
12 月 20 日 15:00-16:00
1 月 22 日 15:00-16:00
絵本『こころってなんだろう』/『みらいってなんだろう』（著：細川
貂々）を読んで、みんなで話し合います。12月、1月、どちらの会も
「てつがくカフェ」についての説明から始めるため、事前知識や用意
は必要なく参加してもらえます。
お互いの考えの違いを知ることを楽しむ場になることを目指します。
場 所 豊中キャンパス/カルチエ
参加費 不要
申込/詳細 右下のQRコードからアクセス
遊びにきてね♪

DIALOGUE
in the night
毎月 第1、3木曜日 Thu | 18:00 19:15
@滴塾/いしばしコモンズ

12/17（日）
14時～
親（大人）のための子ども哲学
第1回/子ども哲学ってなんだろう
『子ども哲学』は、対話を通じて、お互いの理解を深めていく
アメリカ発祥の新しい教育運動です。
子どもたちだけでなく、大人も一緒にこの活動を知ることで、
「子ども哲学」の可能性について学んでいきましょう。
日時 12月17日（日）14時~16時

見に来てね
留学生/地域
インターンシップ報告会
in 石橋商店街
1.23 火
14:00～16:00
石橋商店街内
コミュニティスペース
「くるる」

（「NOTE」を通じた発信、日本語/英語による記事作成。一部抜粋）

9月の活動報告（後半）

♡ 6

いしばしコモンズ/Ishibashi Commons
2023年11月17日 00:08

前の記事に引き続いて、ここからは9月後半の活動報告です。

■9月4/11/18日：メルボルン大学生と地域住民、大学生との交流ワークショップ

メルボルン大学と協力して、地域の小学校と商店街でオンラインの交流イベントを行いました。子どもたちが自分の家族について紹介したり、商店街の特徴について地域の方が説明してくれたり、一方でメルボルンの商店街を大学生が説明してくれたり、と相互に色々な情報を紹介し合いました。

■9月27日：こころの危機研究会（ここキキ）

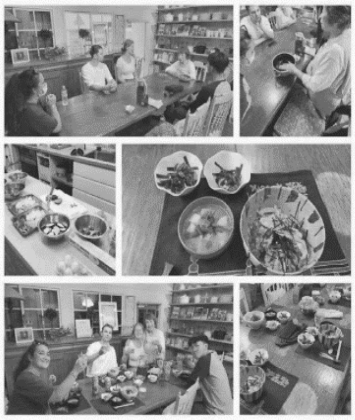
石橋商店街で、「こころ」に関する様々な専門家を招いて、「こころ」についての研究会を実施しました。参加者は地域のソーシャルワーカー、カウンセラー、大学の先生、漫画家、地域住民、学生、と様々な立場の人々です。「こころ」に関する社会の様々な問題について議論しました。

■9月29日：地域インターンシップ実施に向けたオリエンテーション

10月から始まる地域インターンに参加する留学生に向けてオリエンテーションを行いました。オリエンテーションには、過去にインターンシップに参加した卒業生や、地域住民も遊びに来てくれて、良いスタートを切ることができました。

■9月30日：地元小学校、運動会の観覧、ボランティア活動

地域の小学校の運動会に参加して、ボランティア活動を行いました。親御さんたちと一緒に会場の清掃をしながら交流することができました。それぞれの国の運動会との違いについて、話が盛り上がりました。



■9月30日：Japan Food Studies College田中愛子さんによる日本食文化ワークショップ

日本の食文化についての発信、研究を行っているJapanFoodStudiesCollegeの愛子先生が石橋で運営されているキッチンスタジオを訪問して、日本食についてのレクチャーと料理ワークショップを行いました。

日本フードスタディーズ・カレッジ | 食と環境を未来に向かって学ぶ
食と食文化に関する科学的な研究や情報を発信する日本で初のフードスタディーズの研究教育機関「日本フードスタディーズ・カレッジ
foodstudiescollege.jp

****

以上、9月（後半）の活動報告でした。

♡ 6

いしばしコモンズ/Ishibashi Commons
大阪府池田市にある石橋商店街を拠点にして、社学連携の様々な活動を展開しています。*2023年度　公益財団法人　芳泉文化財団「地域活性化部門」の助成を受けています

人気記事

June 6, 2023, 8th Regional Internship Visit to Ishibashi Minami Elementary School, Presentation / Harvest at "Tekijuku" Farm
♡ 1

5月2日　「食」チーム　キックオフイベント
♡ 2

4月18日　地域インターン2回目　池田ダイバーシティセンター訪問、芳泉文化財団　助成金交付式
♡ 2

すべて見る

前の記事
Activity report for September 2023(First half)

次の記事
Activity report for September (latter half)

（FACEBOOK ページを通じた発信。「NOTE」に比べて、よりリアルタイムの情報発信）

た。11月、来年の3月に向けて少しずつ企画が形になっていきそうな予感。

同じ日に武田さんの作品が展示されている東京都立現代美術館に招待してもらって「あ、共感とかじゃなくて。」を見た。ここで考えたことについては、改めて書きたい。コレクション展では、横尾忠則のY字路シリーズの魅力について楽しく話し合った。

その他、友人の紹介で水族館劇場の野外芝居を初めて見た。役者のエネルギーが凄まじい。７階建て、11の滝が上から落とされるというテント芝居もいつか見てみたい。

最後にアンドビールに寄ると、２号店ができていた。びっくり。でもアンディなら次に来たときに5店舗くらいできてても驚かない気もする。

****

最後の最後で、シェアハウス計画がさらに前進しそうだと連絡をもらう。これについては、もう少ししたら情報を公開できそうだ。

ほそかわ てんてんさん、他2人

いいね！　コメント　送信　シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年10月7日 ·

こちらのインタビューに学生と一緒にちょこっと登場しています。誌面で「いしばしコモンズ」についても紹介いただきました。

武田 力
2023年10月6日 ·

【ロングインタビュー掲載】
雑誌「オフショア」の山本佳奈子さんから聞き取りをいただき、「分断を越えるための演出術ー俳優と民俗芸能の経験から」と題した20,000字を超える巻頭インタビューが掲載されています。ツアーでヨーロッパやアメリカを転々としていた俳優の頃から、フィリピンのスラムにおける「たこを焼く」、そして東京都現代美術館「あ、共感とかじゃなくて。」展にて上演中の（教科書カフェ）まで、アジアにおける民俗芸能を土台としながら、なぜこんな「売れない」作品を展開しているのかを余すところなくお話ししています。

最近、ようやく自身のWebサイトに物販ページをつくったので、そこのリンクを貼っておきます。全国各地の書店が扱ってくれているので、見かけたらぜひ手に取ってみてください。
http://rikitakeda.wp.xdomain.jp/%e7%89%a9%e8%b2%a9-2/

東京都現代美術館のミュージアムショップでも取り扱っていただいています。一緒に並んでいる「共感」展の図録も写真あり、批評ありで読み応えあります。個人的には担当キュレーターの八巻さんの文章はぜひ読んでもらいたいものです。

蔦田 伊駒
2023年10月3日 ·

新学期が始まった。毎学期、初回は態勢を協問しているが、ドライバーが２人とも都合がつかなくなってしまったため、急遽予定を変更して石橋近辺で1日を過ごした。

■午前中→タローパン、地域のドイツ語勉強会(最高齢98歳！！)訪問→チームビルディングWS

■午後その1→南小訪問、教員との顔合わせ+4年生交流会に向けての打ち合わせ、6年生の授業に参加、交流

■午後その2→地域住民(ソーシャルワーカー)とのディスカッション

学生支援及びカルト宗発活動を専門にしている太刀掛さんや、美学者の川野さんに加わってもらってこともあり、いつも以上にディスカッションが盛り上がった。

特に、ジェンダーを巡る諸問題については学生たちの関心の高さを感じた。このインターンは、それぞれの国のマイノリティに属する学生が申し込んでくる傾向があり、自分達の経験と紐付けて話し合う場面が多く見られる。

今回はアジア系○○人として過去に経験した差別の体験について話し合う姿が印象に残った。学校訪問の後は、「自分にとって『学校』がどんな場所だったか」というテーマを話し合った。

色々と予期せぬことが起こるので、毎回その場その場の判断で学生を振り回してばかりだ。振り回される心構えを持ってもらうためには、結果的にこの初回になって良かったかもしれない。

山崎 裕樹さん、川原 恵子さん

いいね！　コメント　送信　シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年10月1日 ·

「学校的なもの」について考えることは活動の柱の1つです。

蔦田 伊駒
2023年10月1日 ·

【運動会観覧】
校長先生からのお誘いで、留学生を連れて小学校の運動会を観覧してきた。

コロナのことがあり、全校生徒一緒になっての運動会は4年ぶりだそうだ。保護者や地域の人を招いたのも同じく4年ぶりとのことだった。

ただ、自分自身はこうした学校行事に参加するのは初めてのことだったので、コロナどうこう関係なく、小学校の運動会を見るのは20年ぶりだ。そもそも当事者ではなく、「観覧」などという気楽な立場で眺めるのは初めてだ。

留学生はここ数日で来日したばかりの学生で、どの学生も日本に来ることを夢見てやってきた子ばかりだったので、初めて見る運動会に興奮しきりなのは当然として、そうでなくても子どもたちが一生懸命頑張っている姿を見るのはエネルギーをもらえるものだと感じる。最後の学年混合リレーの時は、知っている子がいるわけでもないのに、自然と応援に力が入った。

自分できえそんな状態なのだから、親御さんたちが大興奮なのは当然のことだと思う。会場全体に高揚感が漂っていた。

子どもたちが一生懸命頑張っている姿が、地域全体に活気をもたらすというのはその通りで、この子たちは(そのつもりがなくとも)地域の中で立派に「役割」を果たしているのだ。

一方で、お昼過ぎには全てのプログラムが終わることや、個人走では次々とレースが消化されていくそのスピードに驚いた。入場門と退場門の距離が近いこと、校庭がテントに囲まれてこんなに小さかったんだ、ということにも驚いた。

こんなに小さな小さな世界が、当時の自己認識ではあんなに大きな世界として感じられていたことを、愛おしく感じるとともに、苦しくもなった。

留学生はここ数日で来日したばかりの学生で、どの学生も日本に来ることを夢見てやってきた子ばかりだったので、初めて見る運動会に興奮しきりなのは当然として、そうでなくても子どもたちが一生懸命頑張っている姿を見るのはエネルギーをもらえるものだと感じる。最後の学年混合リレーの時は、知っている子がいるわけでもないのに、自然と応援に力が入った。

自分できえそんな状態なのだから、親御さんたちが大興奮なのは当然のことだと思う。会場全体に高揚感が漂っていた。

子どもたちが一生懸命頑張っている姿が、地域全体に活気をもたらすというのはその通りで、この子たちは(そのつもりがなくとも)地域の中で立派に「役割」を果たしているのだ。

一方で、お昼過ぎには全てのプログラムが終わることや、個人走では次々とレースが消化されていくそのスピードに驚いた。入場門と退場門の距離が近いこと、校庭がテントに囲まれてこんなに小さかったんだ、ということにも驚いた。

こんなに小さな小さな世界が、当時の自己認識ではあんなに大きな世界として感じられていたことを、愛おしく感じるとともに、苦しくもなった。

留学生はここ数日で来日したばかりの学生で、どの学生も日本に来ることを夢見てやってきた子ばかりだったので、初めて見る運動会に興奮しきりなのは当然として、そうでなくても子どもたちが一生懸命頑張っている姿を見るのはエネルギーをもらえるものだと感じる。最後の学年混合リレーの時は、知っている子がいるわけでもないのに、自然と応援に力が入った。

自分できえそんな状態なのだから、親御さんたちが大興奮なのは当然のことだと思う。会場全体に高揚感が漂っていた。

子どもたちが一生懸命頑張っている姿が、地域全体に活気をもたらすというのはその通りで、この子たちは(そのつもりがなくとも)地域の中で立派に「役割」を果たしているのだ。

一方で、お昼過ぎには全てのプログラムが終わることや、個人走では次々とレースが消化されていくそのスピードに驚いた。入場門と退場門の距離が近いこと、校庭がテントに囲まれてこんなに小さかったんだ、ということにも驚いた。

こんなに小さな小さな世界が、当時の自己認識ではあんなに大きな世界として感じられていたことを、愛おしく感じるとともに、苦しくもなった。

****
【Japan Food Studies College 特別講義】
その後、学校文化についてディスカッションをした後、Japan Food Studies College の田中愛子先生に日本食と日本文化についての特別講義をお願いした。

https://foodstudiescollege.jp/

日本食についての概説から始まり、米文化や、旨味についてのレクチャーを受けたあと、実際に調理体験のワークショップを実施した。

留学生たちにとっても、貴重な体験になっただろう。最後は、ご自宅のテレビでバレーボールの試合を観戦した。自分は高校生のチューターがあったため、1セット目を日本が先取したあと、学生たちを置いて泣く泣く退席した。

高校生のチュータリングの時間は、半分以上が沖縄の修学旅行の話だった。話が楽しかったようで、たくさん土産話を聞かせてくれた。あまり学校が楽しくないと話していた期間が長かっただけに、こちらも嬉しくなる。

最後にちょっと驚くようなニュースがあり、学校にいる時に考えたことが急に切実なことに感じられた。

たくさん移動して、たくさん食べて、色々なことを考えた１日で、気づいたらもう10月だ。

ほそかわ てんてんさん、岡山 仁さん

いいね！　コメント　送信　シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年9月23日 ·

蔦田 伊駒
2023年9月23日 ·

今日はgrafのGさんを先生に迎えて、子どもたちや地域の人たちと一緒に本棚を作ります。

Today we will make a bookshelf with the children and local people!

川野 恵子さん、他3人

いいね！ コメント 送信 シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年11月29日

【滴塾活動報告/意見交換会その２】
明日、11月30日（木）19時〜20時ごろで「滴塾活動報告/意見交換会」と称して、横浜で「哲学で学びほぐし・生きほぐし」を掲げて活動している哲学研究者の山森裕毅さんとZo... もっと見る

dishu-dierxueshe3.webnode.jp
滴塾 第二学舎

Aki Iwayaさん、他1人

いいね！ コメント 送信 シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年11月20日

蓮田 伊駒
2023年11月20日

今日は大阪音大の渡邊未帆さんと実施している「音楽と地域活動(仮)自主研究会」の2回目だった。先々のイベントや地域の盆踊りについて話したあと、参加者と一緒にちょっとしたセッションをした。

未帆さんにカリブのリズムを教えてもらったあと、導かれるままにイントロ、アウトロ、即興パートとを練習して、あっという間にひとまとまりの演奏ができてしまった。せっかく完成したので誰かに見てもらおうということで、そのままタローパンに移動して演奏を披露することに。

研究会パートと即興演奏パートの二本立てでやっていくような方向性が見えてきて、先々の予定もいくつか決まった。

色々と頑張ってみても上手くいかないことも多い一方で、流れに任せていると勝手に色々と決まっていくこともあるから面白い。

dishu-dierxueshe3.webnode.jp
滴塾 第二学舎

山森 裕毅さん、他3人　シェア1件

いいね！ コメント 送信 シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年10月23日

水曜日にこんな研究会をやります。第一回なので手探りになりますが、関心のある方はぜひ遊びにきてください。

2023/10/25(水)
滴塾自主研究会（アート編）プレイベント 「御堂筋彫刻群の魅力」　参加予定
石橋商店街「滴塾」

山森 裕毅さん、Toshiko Nishikawaさん　コメント3件

いいね！ コメント 送信 シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年10月11日

【自主研究会参加のお誘い】

いしばしコモンズでは、これまで様々なコラボレーションを行ってきた方々と一緒に「自主研究会」を立ち上げる、という形で少しずつ活動の輪を広げていくことを考えています。（すでに、クローズドで活動が動き出している研究会もあります。）

まずは今月から、ここで研究会の情報を事前に紹介することで、関心を持っている方たちとつながっていきたいです。

明日は、以下の要領で「国際共修」に関する研究会を実施します。

＊「国際共修」については、以下の東北大学のページで詳しく紹介されています。参考にしてください。

https://intercul.ihe.tohoku.ac.jp/about/

簡単に言うと、留学生と地域をつなぐ様々な活動について、事例を交えながら検討します。基本的に、ゆるーく、敷居の低い研究会を目指しているので、気軽に参加申込いただけると嬉しいです。

ご関心のある方はFacebookのメッセージか、メールでご連絡ください。

〜「国際共修」研究会〜
■日時：2023年10月12日（木）20時〜21時ごろ
■実施方法：Zoomによるオンライン会議形式
＊ZoomURLは参加申込をいただいた方にお伝えします
■参加費：500円
＊支払い方法は参加いただいた際にご相談させていただきます。
■申込方法：Facebookメッセージ、あるいは担当者（ishibashi.academy★gmail.com）までお知らせください。
＊★を「@」に変えてください。
■これまでの研究会メンバー：東北大学、大阪大学、メルボルン大学の先生方及び地域住民で構成される数人です。

今日は芳泉文化財団を訪問して、「いしばしコモンズ」の活動を報告した後、これまでの芳泉文化財団が取り組んできた活動について話を聞かせてもらった。

日本画の修復の様々な技法や修復のための素材の話は初めて聞くことばかりで新鮮だった。また、アカデミー賞を受賞した濱口竜介さんを学生時代から支援しているという話も驚きだった。

関西を拠点に「文化」にこだわって支援活動を続ける在野の団体があることに留学生たちは驚いていた。(一方で、国からの支援がもっと手厚くなるべきでは、という意見もあった)

****

その他の写真は、先週末に東京出張したときのもの。津田塾大学では「まなキキプロジェクト」の皆さんと意見交換をした。

「まなキキ」では、

1.障害を抱える子どもたちの支援
2.就労支援
3.大学生支援

の3つの支援に加えて

4.コーヒーの販売を通じた地域のお店を巻き込むこと

を同時に実現しようという非常に野心的な取組について話を聞かせてもらった。というかすでに実現していて、ワーカーズコレクティブのお店の方から話を聞かせてもらうと、充実した連携が生まれていることが良くわかった。これぞ社学連携。

また、ディスカッションでは、「UDトーク(以前、PECの齋藤さんから教わったのを後で思い出した)」のおかげで、英語、日本語、フランス語が飛び交いながらも、ほぼタイムラグがなく話し合う経験をした。

柴田先生は、テクノロジーを通じた教育、福祉の現場の支援について研究を行っている先生で、様々な示唆をいただいた。インターンでもこの方法を取り入れることで発展的な取組ができそうだ。

日曜日は、いしばしコモンズプロジェクトでお世話になっている武田さんと打ち合わせをした。11月、来年の3月に向けて少しずつ企画が形になっていきそうな予感。

同じ日に武田さんの作品が展示されている東京都立現代美術館に招待してもらって「あ、共感とかじゃなくて。」を見た。ここで考えたことについては、改めて書きたい。コレクション展では、横尾忠則のY字路シリーズの魅力について楽しく話し合った。

その他、友人の紹介で水族館劇場の野外芝居を初めて見た。役者のエネルギーが凄まじい。7階建て、1tの滝が上から落とされるというテント芝居もいつか見てみたい。

最後にアンドビールに寄ると、2号店ができていた。びっくり。でもアンディなら次に来たときに5店舗くらいできてても驚かない気もする。

****

最後の最後で、シェアハウス計画がさらに前進しそうだと連絡をもらう。これについては、もう少ししたら情報を公開できそうだ。

ほそかわ てんてんさん、他2人

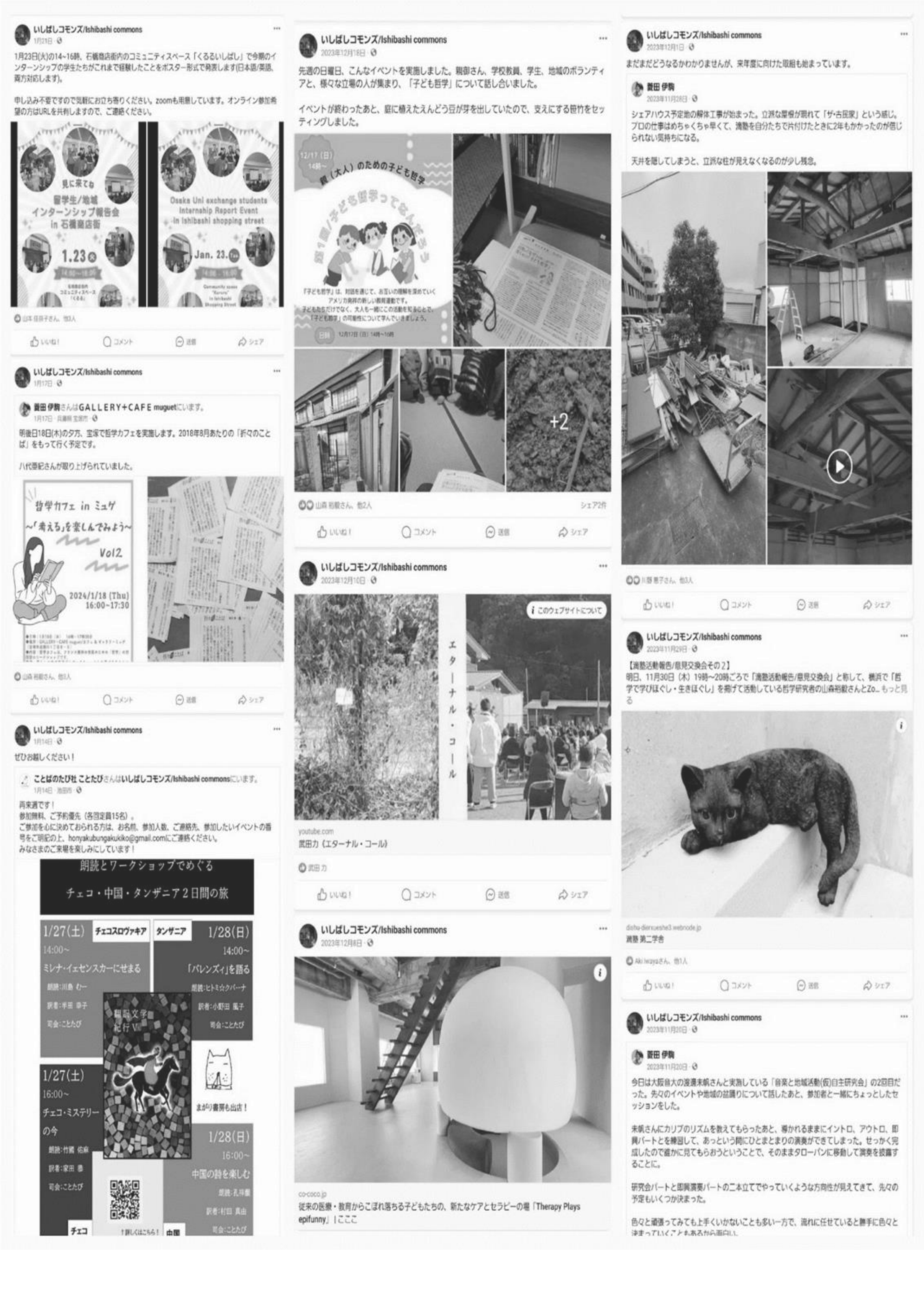
いいね！ コメント 送信 シェア

いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年10月7日

こちらのインタビューに学生と一緒にちょこっと登場しています。誌面で「いしばしコモンズ」についても紹介いただきました。

武田 力
2023年10月6日

【ロングインタビュー掲載】
雑誌「オフショア」の山本佳奈子さんから聞き取りをいただき、「分断を越えるための演出術ーー俳優と民俗芸能の経験から」と題した20,000字を超える巻頭インタビューが掲載されています。ツアーでヨーロッパやアメリカを転々としていた俳優の頃から、フィリピンのスラムにおける《たこを焼く》、そして東京都現代美術館「あ、共感とかじゃなくて。」展にて上演中の《教科書カフェ》まで、アジアにおける民俗芸能を土台としながら、なぜこんな「売れない」作品を展開しているのかを余すところなくお話ししています。


いしばしコモンズ/Ishibashi commons
1月21日
1月23日(火)の14~16時、石橋商店街内のコミュニティスペース「くるるいしばし」で今期のインターンシップの学生たちがこれまで経験したことをポスター形式で発表します(日本語/英語、両方対応します)。
申し込み不要ですので気軽にお立ち寄りください。zoomも用意しています。オンライン参加希望の方はURLを共有しますので、ご連絡ください。
見に来てね
留学生/地域 インターンシップ報告会 in 石橋商店街
1.23
Osaka Uni exchange students Internship Report Event -in Ishibashi shopping street
Jan. 23.
いいね！ コメント 送信 シェア
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
1月17日
蓑田 伊駒さんはGALLERY+CAFE muguetにいます。
1月17日・兵庫県 宝塚市
明後日18日(木)の夕方、宝塚で哲学カフェを実施します。2018年8月あたりの「折々のことば」をもって行く予定です。
八代亜紀さんが取り上げられていました。
哲学カフェ in ミュゲ
~「考える」を楽しんでみよう~
Vol2
2024/1/18 (Thu)
16:00~17:30
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
1月14日
ぜひお越しください！
ことばのたび社 ことたびさんはいしばしコモンズ/Ishibashi commonsにいます。
1月14日・池田市
再来週です！
参加無料、ご予約優先（各回定員15名）。
ご参加を心に決めておられる方は、お名前、参加人数、ご連絡先、参加したいイベントの番号をご明記の上、honyakubungakukiko@gmail.comにご連絡ください。
みなさまのご来場を楽しみにしています！
朗読とワークショップでめぐる
チェコ・中国・タンザニア２日間の旅
1/27(土) チェコスロヴァキア 14:00~ ミレナ・イェセンスカーにせまる
タンザニア 1/28(日) 14:00~ 「バレンズィ」を語る
1/27(土) 16:00~ チェコ・ミステリーの今
1/28(日) 16:00~ 中国の詩を楽しむ
まがり書房も出店！
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年12月18日
先週の日曜日、こんなイベントを実施しました。親御さん、学校教員、学生、地域のボランティアと、様々な立場の人が集まり、「子ども哲学」について話し合いました。
イベントが終わったあと、庭に植えたえんどう豆が芽を出していたので、支えにする笹竹をセッティングしました。
12/17（日）14時~
親（大人）のための子ども哲学
+2
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年12月10日
このウェブサイトについて
エターナル・コール
youtube.com
武田力《エターナル・コール》
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年12月8日
co-coco.jp
従来の医療・教育からこぼれ落ちる子どもたちの、新たなケアとセラピーの場「Therapy Plays epifunny」| ここここ
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年12月1日
まだまだどうなるかわかりませんが、来年度に向けた取組も始まっています。
蓑田 伊駒
2023年11月28日
シェアハウス予定地の解体工事が始まった。立派な屋根が現れて「ザ・古民家」という感じ。プロの仕事はめちゃくちゃ早くて、滴塾を自分たちで片付けたときに2年もかかったのが信じられない気持ちになる。
天井を隠してしまうと、立派な柱が見えなくなるのが少し残念。
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年11月29日
【滴塾活動報告/意見交換会その２】
明日、11月30日（木）19時~20時ごろで「滴塾活動報告/意見交換会」と称して、横浜で「哲学で学びほぐし・生きほぐし」を掲げて活動している哲学研究者の山森裕毅さんとZo... もっと見る
dishu-dienxueshe3.webnode.jp
滴塾 第二学舎
いしばしコモンズ/Ishibashi commons
2023年11月20日
蓑田 伊駒
2023年11月20日
今日は大阪音大の渡邊未帆さんと実施している「音楽と地域活動(仮)自主研究会」の2回目だった。先々のイベントや地域の盆踊りについて話したあと、参加者と一緒にちょっとしたセッションをした。
未帆さんにカリブのリズムを教えてもらったあと、導かれるままにイントロ、アウトロ、即興パートとを練習して、あっという間にひとまとまりの演奏ができてしまった。せっかく完成したので誰かに見てもらおうということで、そのままタローパンに移動して演奏を披露することに。
研究会パートと即興演奏パートの二本立てでやっていくような方向性が見えてきて、先々の予定もいくつか決まった。
色々と頑張ってみても上手くいかないことも多い一方で、流れに任せていると勝手に色々と決まっていくこともあるから面白い。

（以　上）